

移転50周年記念し学長講演

刈谷 愛教大で「ホームカミングデー」



講演で大学の展望を語る野田学長＝刈谷市の愛知教育大で

刈谷市の愛知教育大の卒業生やその家族、地域住民が交流を楽しみながら大学への理解を深める「ホームカミングデー」が十五日、同大で開かれた。同市への移転50周年を記念し、野田敦敬学長が講演した。

野田学長は、地域の子どもが自由に使える実験施設などの学びの場を学内に整備していることを説明。「教育者を育成する大学と

して、子どもたちが日常的にいるキャンパスを目指す」と展望を語った。教員と学生が専攻ごとに卒業生らと研究内容を語り合う「学びの交流会」もあつた。教育行政や学校事務について学ぶ「教育ガバナンスコース」では、学校内の問題点を解決する専門の職員が必要を語るシンポジウムがあり、活発な議論が進められた。(小野開栄)